

イオンモール出雲

AEON MALL Izumo

No. 06-018-2016作成

新築

物販/飲食

発注者	イオンリテール株式会社	カテゴリー				
設計・監理	株式会社熊谷組中四国一級建築士事務所	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
施工	株式会社熊谷組	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

省エネと環境に配慮した大型ショッピングモール

環境配慮概要

本計画は、島根県出雲市の既存店舗の跡地に敷地・規模を拡張して出店するショッピングモールの計画です。

イオンモール出雲（以後、当モール）が立地する出雲市は、島根県の東部に位置し、北部は国引き神話で知られる島根半島中央部は出雲平野。南部は中国山脈で構成された、日本海、神西湖、斐伊川などの豊かな自然に恵まれた風光明媚な地域です。また全国的にも「神話の国 出雲」として知られ、市内には豊富な歴史・文化遺産が点在しています。

当モールでは、「人と環境に配慮したモール」の実現に取り組んでいます。サインや照明にLEDを採用し、効率的かつ環境へ配慮した冷暖房熱源の採用と熱源の分散設置、エネルギー使用の最適化を図るBEMSを採用し、太陽光発電の採用などにより、建物設備負荷の低減や効率化を行い、CO2の削減に努めています。

当モールは、自然、歴史、文化の魅力に富んだ出雲市の魅力をふんだんに活かし、地域の皆さまが慣れ親しんだ様々な意匠を積極的にモール空間に取り入れています。外観は格子模様をベースにした出雲らしさを表現したデザインとするほか、館内でも島根県の伝統工芸を発信する「シマネRプロダクト」とコラボレーションした内装を取り入れるなど、出雲ならではの素材感を演出したデザインを採用しています。



東側外観



ホール吹抜け



2階店内通路

環境及び省エネルギー関連の取り組み

LED器具の積極採用

館内共用部の照明、外部サイン及び核店舗にLEDをほぼ100%採用しています。また各専門店も大部分がLEDを採用しており、全館統一して消費電力の削減、CO2排出抑制に努めています。

空調熱源の効率的な活用

空調熱源には、ミックス空調（「ターボ冷凍機」、「吸収式冷温水発生機」の効率的併用）を採用する事で、エネルギーコストの低減と効率的なエネルギーの活用に努めています。

BEMSの採用による効率的なエネルギー使用

施設内のエネルギー使用状況を可視化し、使用する機器の制御を行いながら、施設内全体を俯瞰した使用エネルギーの最適化を図る「BEMS」を採用する事により、効率的なエネルギー使用をめざしています。

自然光の有効利用

お客様用トイレには自然光を積極的に取り入れることで、照明の消費電力削減に努めています。

節水型衛生器具の採用

節水型便器を採用することで、トイレ洗浄水量を抑制しています。また、利用者の意思に反して、必要以上に洗浄水を流すことを防止するため、洋式便器は従来の自動洗浄装置から衛生的かつ洗浄作動に大きな力を必要としない手動洗浄装置を導入しています。

電気自動車充電器の設置

電気自動車充電器（急速2台、普通1台）を駐車場に設置しています。

緑地の確保

地域のお客様とともに取り組む環境保全・社会貢献活動の一環として、施設の敷地内にその地域に自生する「ふるさとの木」の苗木を植えて大切に育てていく植樹祭を開催しました。また、建物の外壁面に植栽を配置しています。

太陽光発電の採用

環境配慮のため建物屋上に既存店舗の太陽光パネルを再利用して、一部共用部の電気供給をしています。

設計担当者

建築 意匠：道中 満/構造：平川 克比古、山本 圭介/設備・電気：伊藤 俊徳



建物鳥瞰



店舗内照明



壁面緑化

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価	
所在地	島根県出雲市	Aランク	
竣工年	2016年	BEE=2.3	
敷地面積	26,832㎡	2016年度版	
延床面積	67,371㎡	自己評価	
構造	S造		
階数	地上4階		

主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q3. 2. 生物環境の保全と創出・まちなみ景観への配慮（緑化・壁面緑化）
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制
- LR1. 3. 設備システムの高効率化（LED証明の採用）
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減（高炉セメントの使用・再生材の使用）
- LR3. 1. 地球温暖化への配慮（CO2の削減）